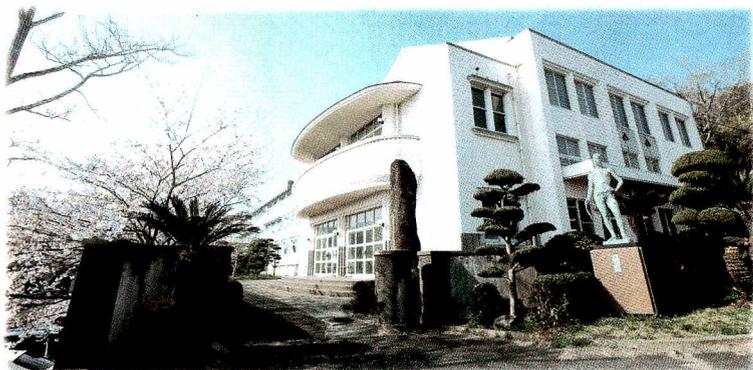


新入会員77名を迎える



第71回卒業式・同窓会入会式

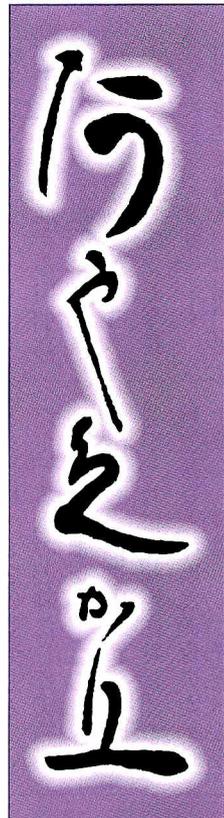
第71回卒業証書授与式が、平成31年3月1日に挙行され、71回生77名が卒業証書を手に入れます。それに先立ち、2月28日には同窓会長をはじめ本部役員や顧問、支部長が出席し、同窓会入会式が行われ、新入会員を迎えます。

平成30年度の卒業生は、男子35名、女子42名の合計77名です。あやめが丘で育った若者たちが、それぞれの目標に向かって大きく羽ばたきます。温かく迎えてください。

同窓会入会式は、例年、新入会員と同窓会役員が出席して行っていました。平成27年度より、全生徒が参加して行うようになりました。

1・2年生にも入会式を見てもらい、新入会員とともに母校を思い、同窓会に関心を寄せてもらうことを期待します。

新しいステージに立つ新入会員77名に温かいご声援とご助力をお願いします。



口加高等学校 同窓会誌

【発行所】
口加高校同窓会事務局
TEL 0957-86-2180

【印刷所】
シロカワ印刷
TEL 0957-87-2157

【題字】
小柳二雄氏筆

同窓会総会・懇親会開催

平成30年度同窓会総会は、11月15日(木)18時、「しらほまビーチホテル」にて開催されました。ご来賓に南島原市総務部長

渡部博様(市長代理)をお迎えし、74名の会員の皆様とともに、平成29年度の事業・決算・会計監査報告、30年度の事業・予算について協議し、承認をいただきました。昨年の総会時に、意見があったクラブ振興事業の内容と使途についても、林田会長より報告いたしました。次年度も同窓会相互の交流と



南島原市総務部長 渡部博様

母校及び在校生のますますの発展のために、心を一つにして活動する思いを共有する総会となりました。

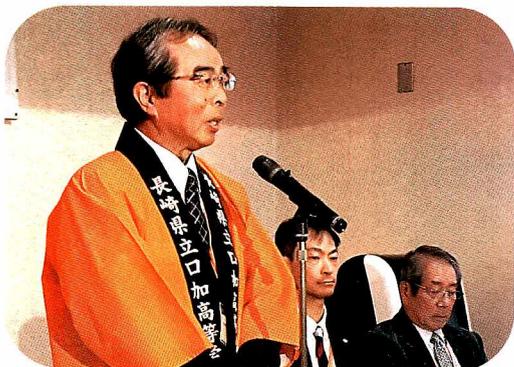
総会後には懇親会を開催しました。口加塾でご講演いただいた早野忠昭氏(東京マラソンレースディレクター)を囲んで、変化を恐れず挑戦し続ける生き方を改めて教えて頂きながら、懐かしい話にも花を咲かせ盛会の懇親会となりました。始めてご参加される方や、関東・関西・福岡など遠方より参加される方もありますので、今後とも、会誌「あやめが丘」や口加高校のホームページ等で案内を広く行い、抽選会等の催しも企画しながら会員の親睦を深める楽しい会にしたいと思います。

口加高校の現況 (平成30年度)

	男	女	計
1年生	32	39	71
2年生	41	50	91
3年生	35	42	77
計	108	131	239

口加高校同窓会会員 (平成30年度)

女子手芸学校	599
実科高等女学校	1,336
高等女学校	310
高等女学校中等部	80
(女学校計)	2,325
口加高校 普通科	13,514
家政科	2,412
商業科	1,388
(計)	17,314
定時制各分校(計)	1,339
(口加高校計)	18,653
合計	20,978





同窓会長 林 田 新一
(昭和42年卒)

あやめが丘に注ぐ時折の陽射しが来る春の遠くないことを感じさせます。

晴れの卒業式を迎えられる77名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

卒業生の皆さんは卒業式前日の2月28日の同窓会入会式において口加高校の同窓会の一員となられました。

晴れて卒業される皆様にお祝いを申しあげると共に、伝統の口加高校同窓会の一員としてお迎えることを心より歓迎いたします。

口加高校で過ごした高校生活は、勉学に勤しみ、汗を流し、そして時には涙した青春の思い出であり、生涯の宝物です。

また、あやめが丘という学び舎は、時を越えて全ての卒業生の共通の思い出であり、同窓生としての共有されるものです。今後は同窓生の一員として口加高校の伝統を共に紡いでいたいただきたいと思えます。

創立117年を迎える口加高校は早崎の瀬戸を眼下に望む風光明媚なあやめが丘に建つこの学び舎から2万名を超える卒業生を送りだしています。

全国各地には関東、中部、関

西、福岡、熊本に支部があり、県下には長崎、諫早、県北、島原と地元の小浜から深江までに支部があります。それぞれの支部会や支部間で活発な交流がなされております。

本部活動としては開校記念日の前日に本部総会を開催しております。総会に先立ち学校との共催行事で人生の達人セミナー「口加塾」と銘打って本校卒業の先輩から実社会における経験談を本校の後輩たちへ直接講話していただく企画を開催しております。

今年度は東京マラソンのレースディレクターを務められている54年卒業の早野忠昭氏に氏の生き方、考え方、実践などについて有意義な講話を伺いました。

本同窓会では全国の会員の皆様との交流と同窓会の活性化を願い会報誌の全国配信を始めてから四年目を迎えます。

同窓会の状況や学校の近況などを皆様へお届けし楽しんでいただけるものと確信して実施してまいりました。

併せて、発送にかかる相応の費用と共に在校生に対しての各種支援などの財源確保のためにサポーター事業として皆様へご芳

志のお願いをしております。全国の卒業生の皆様から暖かいご賛同をいただいております事、紙面をお借りして感謝申しあげます。

少子化の流れのなか生徒数の減少に苦慮しておりますが、一昨年に特進クラスのグローバルコースがそして新年度には福祉科の新設と続き、志願者数の増加が期待されます。母校口加高校が新たな隆盛の時代を迎えられるよう期待しつつ見守っていきたく思います。

最後にありますが会員の皆様への感謝と共にご健勝を心よりお祈りいたします。



第71回卒業生代表幹事



3年1組 岩本 阿弓 さん
(口之津町)

私は口加高校で充実した高校生活を送ることができて、とてもよかったです。この3年間は数々の困難もありましたが、先生方や友人たちのおかげで乗り越えることができました。



3年2組 馬場 愛純 さん
(南有馬町)

私は、口加高校で充実した高校生活を過ごすことができました。本当に良かったと思っています。

夏季学習合宿や日々の補習などを通じて、先生方がどれほどの熱意をもって私たち一人一人の進路を実現するために努力されているのを知り、自分たちがどれほど素晴らしい環境で学習しているのかを再認識することができました。また平日、休日を問わずそのような指導を受けさせてもらっている私たちは幸せ者だと感じました。

また部活動では、伝統ある陸上競技部に所属しました。競技面はもちろんですが、先輩方から礼儀、感謝の気持ちを持つことが大切だと学びました。これらの力は、これからの私の人生で役に立つと思えます。

これから私たちは、自らの夢を実現するためにそれぞれの道に進みますが、歴史と伝統のある口加高校で学んだことを誇りに、これからも頑張ります。今後は口加高校OBとして母校の更なる発展に貢献できるよう邁進し、第71回卒業生代表幹事としての役割を果たしていきたいと思えます。

口加高校で3年間を過ごし、心身ともに成長することができたと思っています。卒業後、それぞれ夢の実現に向けて頑張っていきます。第71回卒業生代表幹事として、誇りと伝統ある口加高校の名に恥じぬよう、しっかりと役割を果たしていきたいと思えます。



関東口加会

事務局次長 福田 健二
(昭和58年卒業)



『在校生の皆さんへ』

3月に卒業を迎えられる皆さん、おめでとうございます。進学する人、就職する人これまでとは大きく変化する生活が始まります。これからの人生に『挑戦する気持ち』を忘れず進んで行ってもらいたいです。仕事もプライベートも常に挑戦！こけてもいいのです、こけた後しゃがんだ分高く跳べるのです。みんな長崎の地から高く飛び跳ねて下さい！

ここで昨年の関東口加会の様子をお話しします。昨年は偉大なる早野先輩（陸上800メートルで全国制覇、現在東京マラソンレースディレクター）も久しぶりに出席された事も有り、例年より多く約120名の方々が参加され大いに盛り上がりました。さらに今回は今や全国的

に有名になりましたNHK番組『チコちゃんに叱られる』の取材カメラが会場に入りました。殆どの人は胃カメラには馴染みが在るのですが馴染みのないテレビカメラを前で必死に標準語に置き換えて取材を受けるシーンがとても楽しく感じた時間でした。予定時間を大幅にオーバーし取材を受けられた大勢の方々もこれで全国放送に流れる！という期待と裏腹に放送されたのは私を含め僅か二人でした（残念・・・）

同窓会とは年齢の差をぐっと縮めてくれる魔法がある、親と同じくらい離れた大先輩や甥っ子、姪っ子程の後輩とも不思議と会話が弾む。口加高校の卒業生と言うだけで親近感を感じるそんな同窓会で在り続けたら良いなと思う今日でも有ります。皆さんも一度足を運んでみては如何ですか？

中部口加会

会長 中村 正史
(昭和43年卒業)

新卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。これから親元を離れ生活環境が大きく変わります。不安や心細さで悩むと思います。解決方法は一人で悩まないことです。解決方法は一人で悩まないことです。

さて中部口加会は10月28日キヤッスプラザで開催されまし



御さんの負担が大きいのと思いますが進路指導で関東、中部を積極的にPRをしていただければ幸いです。併せて少子化の時代の中、従来の同窓会の運営の在り方を再考する時が来たのかも知れません。

最近の新聞を読むとパワハラ、セクハラ、格差社会、グローバル化等々、私が現役のころには接しなかった文字が氾濫しています。息苦しい時代を感じます。平成の終わりに卒業された皆さん、月並みな言葉ですが健康に留意し自分を律し、これから生じる様々な問題を乗り越え社会人として成長されることを祈念します。

関西口加会

会長 畑田 豪一郎
(昭和44年卒業)

3年生の皆さん卒業おめでとうございます。高校を卒業するということは進学する人にとっても就職する人にとっても皆さんの人生に取って大きな区切りです。これからも皆さんの人生を切り開く為に何事にもトライすることを忘れないで下さい。一歩前へ！皆さんの頑張りを期待しています。

関西口加会は西日本豪雨が猛威を振うつかの間の晴れの日、それでも注意報の為7名の欠席者の方におかれては残念でした。去年も同窓会を開催致しまし

◀第27回関西口加高等学校同窓会 (2018年7月8日)



た。お蔭様で南串山分校卒の茂龍次さんによる相撲甚句や沖縄民謡、北有馬出身の溝田又男さんの断食マラソンのお話など大いに盛り上がり懇親を深められ、そして南串山の森谷悦男さんのじゃが芋や有家「林田製麺」より差し入れの素麺・太宰府「梅の実ひじき」・クジ景品等盛り沢山のお土産で心豊かに家路につかれました。

今年7月14日(日)12時より例年と同じ大阪城を仰ぎ見る馬

場町の「KKRホテル大阪」にて開催致します。もう同窓会は卒業したという方一休みされている方、まだ出席されたことがない方、巻末の住所・アドレス・電話へご連絡下さい。ご案内お送り致します。

連絡お待ちしております！

《関西口加会》
 会長 畑田 豪八郎
 (S44年卒 口之津町出身)
 TEL: 080-3459-9748
 E-mail: g.hatada@nifty.com
 〒630-0222
 奈良県生駒市壱分町1463番地25
 (畑田豪八郎 気付)

口加博多会
 会長 荒木 省三
 (昭和42年卒業)

口加博多会では、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として原城が世界遺産に登録されたことを祝って、草月流師範の山口副会長に特別豪華な花を付けてもらいました。

林田会長・大野副会長・宮崎副会長、狩野校長、渡部市長代理、平野関東口加会々々長、畑田関西口加会々々長、田口口之津支部支部長において頂き、母校、故郷の情報を聞かせてもらいました。来年度は口加高校への受験希望者が1000人を超すと聞いています。歴代の校長先生は



じめ先生達、同窓会本部のPR活動とグローバルコース・福祉科の設立や制服のリニューアルなど工夫の積み重ねが実を結びつつあると思います。

太宰府天満宮には千年を生き抜いているクスノキが51本あります。境内の石碑に「くすの木千年さらに今年の若葉なり」という句が刻まれています。会の持続のために、博多会に若葉が芽生えるよう願っています。

「後輩の諸君へ」
 私たちの祖先の人数は、親、祖父、祖母と計算してゆくと、400年間では、13万1,072人になります。その中の誰か一人が欠けても今のあなたはこの世に存在しないのです。それは

ど多くのお陰であなたは存在するのです。祖先達はあなたにどんな言葉をかけるでしょうか？私は「一生懸命に生きろ！」だと思います。尊敬する人、好きな人、素晴らしい本などとの「出合いを大切に」して、世の中から必要とされる人間に変化し成長して下さい。

口加長崎会
 副会長 松尾 孝一郎
 (昭和43年卒業)

平成30年口加長崎総会を11月17日(土)林田新一同窓会長、狩野博臣校長、同窓生である中島県議、松本市長諸氏をお招きしサンプルメールで開催しました。

総会はスムーズに進行、諸報告の中で母校が将来を見据えて前進しようとしている様子が紹介されました。そういえば最近、南島原市内の幹線道路沿いや施設等に「行こうか 口加 リニューアル宣言！」のポスターや横断幕が目立つようになりました。生徒、保護者、教職員一体となった取り組みに感謝しています。その取り組みが立派で、もう一度入学したいと思うほどです。

講演は、昭和42年卒業の地元有力企業「和泉屋」代表取締役井上確氏からお話しを頂きました。昨年、雲仙市愛野町に日本最大のカステラランドの設備投資をされ、地域活性化にも貢献

されています。心に残ったことは、「攻撃は最大の防御」「何事も前向きに攻めの気持ちが大切」「失敗してもクヨクヨするな、次の仕掛けを考えよ」だと教えられました。

懇親会は久々の再会を喜び合い旧交を暖め最高に盛り上がり、校歌の「：お口加その名のもとに：」を声高らかに歌い、あやめが丘を共に懐古しました。結びに卒業生のご健勝と在校生のご成長を祈りつつ母校へのメールといたします。

諫早口加会
 会長 志賀 正幸
 (昭和61年卒業)

「諫早口加会 ヤングマン」

12月8日(土)諫早観光ホテル道具屋で、林田新一本部同窓会会長様をはじめ、狩野博臣校長先生様、南島原市長代理の渡部博総務部長様ほか多くのご来賓をお迎えし52名の参加による同窓会を開きました。前半は同窓会の今期の活動内容、在校生の活躍や来年度からの新たな取組みについて、同窓会と母校の現況についての貴重なお話を聞く機会となりました。

後半は諫早口加会名物、池田篤理事の名司会による懇親会です。懇親会も中盤、ステージで特別ゲストの「宮本秀樹」が諫

早マイツのバックダンスでヤングマンを披露すると会場は一気に熱気に包まれていきました。恒例のビンゴ大会では、素敵な景品のほかに、今年は南島原市と宮崎太本部同窓会副会長様のはからいで、「ひよつづる」が参加賞として振舞われ、ヒデキほか参加者大感激！松本市長、宮崎副会長ありがとうございました。来年もよろしくお願います。



▶平成30年12月8日(土) 於・諫早観光ホテル「道具屋」

(平成30年度 長崎県高校総体入場行進)



平成30年度 長崎県高校総体結果

Table with 2 columns: Event (陸上競技, バレーボール, etc.) and Results (男子/女子, 順位, 選手名).

九州陸上競技選手権大会

《陸上競技》女子ジュニア円盤投げ【第3位】井口侑香

平成30年度 長崎県高校新人大会等結果

Table with 2 columns: Event (陸上競技, 卓球, etc.) and Results (男子/女子, 順位, 選手名).

第100回 全国高等学校野球選手権長崎県大会

- 1回戦 口加 5 - 1 北松西
2回戦 口加 8 - 5 長崎南
3回戦 口加 1 - 11 長崎商業 (7回コールド)



NHK杯長崎県高等学校野球大会

- 1回戦 口加 1 - 11 西陵 (5回コールド)

平成29年度卒業生 進路状況 (平成30年3月 卒業生 普通科78名)

合格実績 (延べ人数、過年度卒を含む)

Table with 2 columns: Institution (国立大学, 公立大学, etc.) and Number of Students (12人, 5人, etc.).

主な合格校

- 《国公立大》東京農工大1、九州大1、長崎大3、熊本大3、九州工業大1、佐賀大1、大分大1
《公立大》長崎県立大4、宮崎公立大1
《私立大学》明治大、東京工芸大、立命館大、中京大、名古屋文理大、川崎医療福祉大、広島工業大、南九州大、帝京大、福岡女学院大、九州共立大、久留米大、久留米工大、九州産業大、福岡工大、西南学院大、筑紫女学園大、福岡大、活水女子大、長崎純心大、長崎国際大、長崎ウエスレヤン大
《短期大学》長崎女子短、長崎短、福岡女子短、香蘭女短、純真短、福岡工業大短大部、大分県立芸術文化短、上智大学短期大学部
《医療系専門学校》福岡看護専門学校、あさくら看護専門学校、九州医学技術専門学校、福岡医健専門学校、麻生リハビリテーション大学校、福岡和白リハビリテーション学院、久留米大学医学部附属臨床検査専門学校、糖野医療センター附属看護学校、長崎市医師会看護専門学校、長崎歯科衛生士専門学校、こころ医療福祉専門学校、島原市医師会看護専門学校、熊本労災看護専門学校
《その他専門学校》日本工学院専門学校、西日本アカデミー航空専門学校、名古屋デザイナー学院、中部楽器技術専門学校、麻生工科自動車大学校、福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校、中村調理製菓専門学校、ハリウッド美容専門学校、福岡ビジョナリアーニング・諫早コンピュータカレッジ、メトロ総合ビジネスカレッジ、公務員ビジネス専門学校、長崎公務員専門学校
《公務員・就職》南島原市、雲仙市、自衛隊、美容室アンブラージュ



☆放送部 NHK杯全国高校放送コンテスト

《アナウンス部門》井上祐香【決勝進出】《朗読部門》森塚はな【優良賞】

☆放送部 県総文祭

《アナウンス部門》井上祐香【決勝進出】《朗読部門》森塚はな【優良賞】

☆吹奏楽部 第63回長崎県吹奏楽コンクール【銅賞】

☆第10回全国高等学校観光選手権大会(観光甲子園)

《グローバルコース 1年3組》氏原由博・大嶋健心・岩本彩莉・大久保七香・栗田悠衣・近藤愛夏……【審査委員奨励賞】

☆島原半島ジオパーク高校生研究発表大会

《グローバルコース 環境班》林田七海・塩田夏詩江・井上祐香【優秀賞】
《グローバルコース ジオ看板班》太田千愛・森田達也【研究奨励賞】

☆第13回全国高校生金融経済クイズ選手権(エコノミクス甲子園)

《グローバルコース 1年3組》氏原由博・末續真子……【第3位】

☆ユース環境活動発表大会

《グローバルコース 環境班》林田七海・塩田夏詩江・井上祐香・梅野美咲・金子 倭・高橋美貴……【優秀賞】

☆第5回長崎国際大学福祉作文コンクール

《1年1組》安達まどか……【佳作】

☆第6回長崎国際大学福祉作文コンクール

《1年1組》柴内敬都……【学長賞(最優秀賞)】

☆平成30年 第25回「高校生の税に関する作文」

《1年1組》安達まどか……【島原税務弘報協議会賞】

☆長崎ウエスレヤン大学 第20回「福祉大賞コンテスト」

《3年1組》八木淳成……【優秀賞】

☆平成30年度 長崎県高等学校総合文化祭書道展

《3年1組》照平麗月……【特選】

創立百十七年目、 口加高校は元気です！



校長 長野 博 臣
校 長 野 博 臣

◆「春風や 闘志いだきて 丘に立つ」(高浜虚子)

心地よい春風が、あやめが丘に春の訪れを告げています。今まさにこの丘から、77名の若人たちが飛び立とうとしています。あやめの花言葉は「希望」です。一人一人が希望を胸に抱き、これからの人生にどんな困難や試練が立ちはだかろうとも、希望を持って果敢に挑戦し、道を切り開いて欲しいと願っています。

さて、2月28日、林田新一同窓会長様をはじめ、役員各位のご臨席を賜り、同窓会入会式が執り行われました。全国各地に飛び立つ後輩たちをよろしくお願ひ申し上げます。

◆平成30年度卒業生の進路

多くの卒業生が故郷を後にし、新天地での生活を始めます。以下、今春卒業する生徒たちの主な新しい居住地です。なお、国公立大学等の発表前ですので人数は概数です。

- 島原半島内(5名) ○長崎市(7名) ○佐世保市(1名) ○佐賀県(1名) ○熊本県(2名) ○福岡県(23名) ○関西圏(3名) ○中・四国(2名) ○東海(3名) ○北陸(1名)

◆平成30年度の 口加高校の現況報告

- (1) 生徒数 ※別添①を「ご覧ください」。
- 全校生徒239名。内訳は、1年生(定員120名) 71名、2年生(定員120名) 91名、3年生(定員160名) 77名。
- 今年度の本校の総定員に対する生徒充足率は約6割です。
- (2) 全国レベルでの生徒たちの活躍

- ① インターハイ出場
陸上競技部2年生の森北詩音さんが、三重県で開催された「2018彩る感動 東海総体」に出場しました。森北さんは1年次も県高校総体を制し、連覇を果たしました。
- ② 観光甲子園での審査員奨励賞受賞 ※別添②

グローバルコース1年生6名が、南島原市を訪れた外国人向けの滞在型観光プランを策定しました。プランタイトルを「世界遺産とジオパークで『じげもん』を知る」とし、南島原市を中心に島原半島の観光資源を堪能できる旅を企画し、全国18

0校中24位(九州ではトップ)という成績を収めました。

(3) 英語教育の充実

- ① 口之津小学校及び口之津中学校との連携 ※別添③

今年度、県教育委員会からの指定を受け「英語スピーキング能力の育成とその評価」について実践研究を行っています。その一環として、長崎大学の言語教育センターの先生にご指導をいただき、口之津小学校・中学校との連携を図っています。

- ② グローバルコース2年生のオーストラリア英語研修

7月28日から7泊8日の日程で、シドニーにおいて本校初となる海外語学研修を実施しました。初めての海外という生徒も多く、経由地のシンガポール空港での持ち物検査でデオドラントウォーターが基準液体量を超えていたため、何を言われているのか分からないまま没収され怖い経験をするなど、全てが貴重な異文化体験の機会となりました。

◆同窓会・PTAから 本校へのご支援

- ① 「口加塾」の開催 ※別添④

3回目となる今年度は、東京マラソンレースディレクターの早野忠昭様(昭和52年度卒)に「変化を恐れず挑戦していく力」と題してご講演を賜りました。これまでの経歴、現在のお仕事、そして「A rolling stone gathers no moss. (転石苔生せず)」

ということわざを引き合いに出され、人生は変化を求め、変化を楽しむことが大切であるなど、後輩たちへの熱いエールをいただきました。

- ② 横断幕の作成 ※別添⑤

本校は国道から1本入った場所に立地し、学校の存在が見えにくい状況にありましたので、同窓会に横断幕を作成していただきました。現在、本校、口之津町、加津佐町、小浜町に掲げさせていただいております。

- ③ オリジナル応援グッズの作成 ※別添⑥

PTAの皆様方に、本校のスクールカラーであるオレンジを基調としたポロシャツ、タオル、トートバッグ、ランチバッグを作成していただき、収益金を生徒たちの教育活動に充てさせていただきます。ご購入いただいた後輩たちの応援をしていただけましたら幸甚に存じます。応援グッズを身に付けた方々を街中のあちこちで見かけることは、生徒達へのエールにもなると思っています。

◆「行くが口加！ 口加リニューアル宣言」

これは、昨年4月に全職員で考えたキャッチフレーズです。日々、私たち自身が自己更新して成長していくことの大切さに加え、来年度、本校が次のとおりリニューアルすることを表現しました。

- ① 県内公立高校初となる「福祉

科」の設置(介護福祉士の国家資格が取得可)

- ② 毎日50分7時間授業の実施(早朝補習を廃止)

- ③ グローバルコースを特別進学コースとして位置づけ

- ④ 27年ぶりとなる制服の一新(体操服も変わります)

◆本校への進学希望者の増加

県教育委員会が12月に実施した「中学3年生進路希望調査」の結果は次のとおりです。

- 普通科・普通コース49名(定員54名)、グローバルコース37名(同40名) ○福祉科20名(同26名)、計106名(同120名)

6年ぶりに100名を超す中学生が本校を志願しております。「生徒に寄り添い、愛情を注ぎ、進路目標を達成させる学校でありたい。」この思いを全教職員で共有し、今後とも地域に愛され、中学生が憧れる高校創りに邁進してまいります。

◆結び

6月の関東口加会を皮切りに開催された各支部総会に出席させていただきました。会員の皆様方との語らいの時間は、県内屈指の伝統を誇る口加高校に勤務できたことの幸せや誇り、また責任を改めて感じる時間でもありました。心から感謝申し上げます。末筆になりますが、同窓会のみならずのご発展と会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

口加塾 人生の達人セミナー感想文

「変化を恐れず挑戦していく力」

1年グローカーコース 小玉亜澄

今日の講演を聴いて、私は勇気をもってもつと色いろなことに挑戦していこうと思いました。何かうまくいかないことがあった時、私はよくよく考えこんでしまうことがたまにありますが、でもそうやって何も変わらなまま、過去のばかり振り返つても、未来に不安が募つていくだけです。それは前からわかってはいたけど、私には自分を180ガラツと変化させて前に進んでいく行動がありませんでした。すぐに楽な方に流れていってしまいます。

でも今日の話しをきいて、できるかできないかよりも、やるかやらないかというところに価値を見出すことが重要だと気づきました。そして挑戦していく中で失敗した時どうすればいいかという質問に対して、落ち込んでいいという答えにも元気づけられた気がします。

また自分があまり好きじゃない、気が向かないけどやらなければならぬ時には、自分の好きなこととフュージョンさせて工夫しながら一つ一つの物事を達成させていきたいです。早野さんは、常に新しいものを求めて変化し続けている。うまくいって

時でもスリルや自分からできるエネルギーを感じるために変えていくと聞いて、やっぱりそういった格好いい考えをもった人が、組織のトップに立って大勢の人たちや日本を動かしていくのだと思います。私もそうなりたいです。



平成31年度 口加高校同窓会総会 《第1部:第4回口加塾》《第2部:総会及び懇親会》 【とき】平成31年11月15日(金) 【ところ】しらはまビーチホテル

Table with financial data for the association, including income (前年度繰越金, 会費) and expenses (総会懇親会, 諸経費).

Table with financial data for the magazine, including income (郵便局入金件数) and expenses (あやめが丘作成費, 印刷費).

事務局だより

☆住所等の変更
昨年第51号の発行では、約13,880部を発送し、約291通が所在不明で返送されま

☆証明書等の請求
卒業証明書・成績証明書調査書などの各種証明書が必要な

二、手数料(一通につき350円)円を添えて申し込んでください。郵送を希望する場合には、切手を貼った返信用封筒を添えてください。



同窓会事務局
校長 狩野 博臣
教頭 市丸佐緒里 (事務局長)
事務長 中村 啓一
会計 永吉 照美 (S53年卒)

本部役員 (平成29年~30年)
(口之津 S42年卒) 新 一 豊
(口之津 S48年卒) 新 大 浩
(南有馬 S50年卒) 新 浩 平
(加津佐 S61年卒) 新 浩 平

「もっと口加のホットな情報をもっと」の要望や各支部等から寄せられる意見を反映し、第四号会誌「あやめが丘」が完成いたしました。本号は、口加高校の魅力伝える新聞記事や口加塾の生徒感想、PTA情報を新たに加え編集しました。ご多用な中に、執筆編集にご協力いただきました皆様、誠に心より感謝申し上げます。